

平成24年度から使用する 日野市立中学校教科用図書の 採択結果について

平成23年8月11日教育委員会定例会において、平成24年度から平成27年度まで使用する中学校教科用図書の採択を行いましたので、お知らせいたします。

種目	発行者
国語	光村図書出版
書写	学校図書
社会(地理)	帝国書院
社会(歴史)	東京書籍
社会(公民)	帝国書院
地理	帝国書院
数学	新興出版社啓林館
理科	新興出版社啓林館
音楽(一般)	教育芸術社
音楽(器楽)	教育芸術社
美術	開隆堂出版
保健体育	学研教育みらい
技術(家庭・技術)	開隆堂出版
技術(家庭・家庭)	東京書籍
英語	三省堂

平成23年度CRTの結果

CRT(教研式標準学力検査)は、児童・生徒に確かな学力の定着と伸長を図ること、各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善に生かすために実施しています。

日野市の結果は中学校第一学年では、全国平均を上回ったものの、小学校第四学年の算数、理科においては、全国平均を下回りました。
今後の課題として、算数、理科における基礎的・基本的な知識・理解や表現・処理の確実な定着を図ることが必要です。課題のあった学習内容について、補足的な学習や繰り返し学習により、一人一人の学習理解を深められるよう、授業改善と学習習慣の定着に努めてまいります。また、知識や技能、思考力や判断力等を活用して、問題解決を図るための考える力の育成にも、力を注いでまいります。

平成23年度 CRT (教研式標準学力検査) 結果

		国語	社会	算数 数学	理科
小4	日野市	72.8	77.5	74.6	79.1
	全国	71.5	77.4	77.6	79.6
中1	日野市	75.6	70.7	67.4	68.0
	全国	73.2	68.1	64.7	66.5

(学校課)

ICT活用授業

日野第二中学校の特色をはきり出すための二中プロジェクト(P.T.)が順調に行われています。

①学力向上策として中間、期末テスト前の補習授業に一日平均30名前後が参加しました。また、漢検、英検のための学習会にも積極的に多くの生徒が参加しています。
生徒からの感想は「静かです。できた・わからないところを

外国語活動研修

『夏季教員研修』

小学校学習指導要領完全実施に伴い、5、6年全学級で外国語活動の学習が始まりました。外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養うことをねらいとしています。

7月29日(金)教育センターにおいて、小・中学校の先生36名が参加して外国語活動研修を行いました。この研修は、小中連携の視点を踏まえ、コミュニケーション教育としての外国語活動のねらいを明確にして、授業展開に役立つ知識やスキルの向上を図ることをねらいとした夏季課題別研修の一つです。前半は、上智大学外国語学部

和泉伸一准教授から、「子どもはどうやって言葉を習得するのか」と題し、演習を交えながら講義を受けました。子どもの言語習得の特徴を知り、外国語活動の授業で大切なことを学びました。意味あるインプットに多く触れること、言葉が分からなくても指導者のしぐさや実物・写真などで内容を理解させること、インタラクティブを多くすること、子どもが自ら言葉の使い方などに気づくような学習展開を工夫することなどを意識して授業を進めていくことが大切になります。

使える外国語活動の指導法を体験しながら学びました。この研修を通して、授業を充実させるとともに、小・中学校それぞれの先生が相互の指導内容を理解し、発達段階を考慮に入れた指導の大切さを実感しました。



富士電機グループによる理科実技研修会

日野市では、平成21年度から魅力ある理科の授業作りに向けて、富士電機グループによる研修会を実施しています。

今年度は、これまで好評だったモーター実験について、新たな方法を提示していただきました。また、富士電機の発電システムの見学に加え、小学校教員を対象とした理科実技研修会を8月1日(月)に行いました。講師は富士電機(株)技術開発本部パワエレ技術開発センター



補習授業の様子



森井氏の講話会

③食育の取り組みは弁当の日を実施し、食についての講話は二期に行います。
■二中P.T.の大きな目的は生徒たちに本物の多くの実体験を通して豊かな感性を身に付けてほしいことです。

(学校課)

わった後、手作りモーターの製作に取り組みました。今年度から新たに採択された教科書に掲載されている手作りモーターを製作し、実験のコツを学びました。

参加した先生たちからは、「電気のしくみやエネルギー変換がよく分かった。指導者として役立つ知識をたくさん得ることができた」「昨年度とは違うモーターの作り方で、ものづくりの楽しさを味わうことができた。

この感動を子どもたちにも体験させてあげたい」との声が聞かれました。

午前、午後で31人の先生が参加しました。電気についての幅広い知識と、実験を通して味わった理科の楽しさを、子どもたちに伝えていただくことを願っています。



郷土教育研修会

日野市では、毎年、夏季休業日中に郷土教育推進研究委員が講師となって、フィールドワークと講義・演習の一日研修を実施しています。

今年度は、8月2日(火)に実施しました。午前中は、「高幡地区の歴史・自然を訪ねて」高幡不動と潤徳小学校をテーマに教材化の視点を探りながらフィールドワークを行いました。高幡不動駅を出発し、高幡山金剛寺(高幡不動)、高幡城址、旧潤徳小学校跡地(現在のJA東京みなみ七生支店)、藤

治権現を経て、向島用水親水路に至りました。金剛寺では、お寺の方から説明をいただき、各ポイントでは、推進委員の先生が説明を行いました。高幡地区の昔の様子を知るとともに、観光地として盛り上げるために、昔から地域の方々が努力していること、多くの伝説が残る地域であることが分かりました。

午後は、フィールドワークのまとめと推進委員からの実践報告、図書館からの報告、教材化演習を行いました。

参加した先生たちからは、「普段からなじみのある所や小さな史跡でも、様々な歴史的背景があることが分かった。」「向島用水と水車を見て感激した。『緑と清流のまち』ということが実感できた。」「郷土教材の実践を知ることができ、教材化の視点を知らることができた。」との声がかれました。

郷土教育を推進するためには、教員自身が地域の歴史や自然、文化、地域で活躍する方々に触れ、知識だけではなく、実感を通して、地域への愛着や誇りをもつことが大切です。その土台に立って、具体的な教材化を図り、指導することで子どもたちの郷土に対する興味・関心が高まっています。この研修会をきっかけに、郷土教育が充実することを願っています。



(学校課)